

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6階

TEL 03-4236-5217 (直通) FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 北村 憲正

<http://www.computernews.com/marketview>

CD-R/RW対応モデルが好調で デジタル携帯オーディオプレイヤー市場が急拡大

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長奥田喜久男)は、東名阪のパソコン大手販売会社13社(エイデン、大塚商会、ランド、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、上新電機、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ビックピーカン、ニノミヤ、ワンダーコーポレーション=50音順)562店舗(2001年4月1日現在)の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています(6月より、第2、第4金曜日の発行となります)。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社・東京都文京区、社長・奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研の調べによると、MP3、ATRAC3、WMAなどの圧縮データを再生できるデジタル携帯オーディオプレイヤーの販売が急速に拡大、ソリッドオーディオとCD-R/RW対応プレイヤーに売れ筋が二極化しはじめていることがわかった。最近では、パソコンの活用方法がひろがり、音楽編集を行うユーザーが増えていることから、収録容量が多く、メディアが安いCD-R/RW対応プレイヤーに人気が集積、需要が大きく変化しはじめています。

2001年12月からデジタル携帯オーディオプレイヤーの販売が急速に伸びはじめ、2001年5月には台数ベースで前年同月比168.4%増、金額ベースで150.3%増を記録した。

この市場拡大に大きく貢献しているのが、CD-R/RW対応プレイヤーである。これまでは、コンパクトで軽量のソリッドオーディオがデジタル携帯オーディオプレイヤー市場の中心であったが、3月にソニックブルーから「RioVolt」が発売されたのを機に、CD-R/RW対応プレイヤーの販売量が急速に伸びはじめた。「RioVolt」は、4、5月と2ヵ月連続で機種別販売台数シェアトップを獲得(図1)。4月にはケンウッドから同タイプの「DPC-MP-727」が発売され、CD-R/RW対応プレイヤーの販売比率は約4割に達している(図2)。

メモリスティックやスマートメディアなどの記録媒体を使用するソリッドオーディオに比べて、10倍以上の曲数が収録可能であることが、CD-R/RW対応プレイヤーが人気を集めている要因といえるが、CD-R/RW搭載パソコンの普及で、音楽編集を行うユーザーが増えた影響も大きいといえるだろう。

図1 デジタル携帯オーディオの主要機種別シェア推移

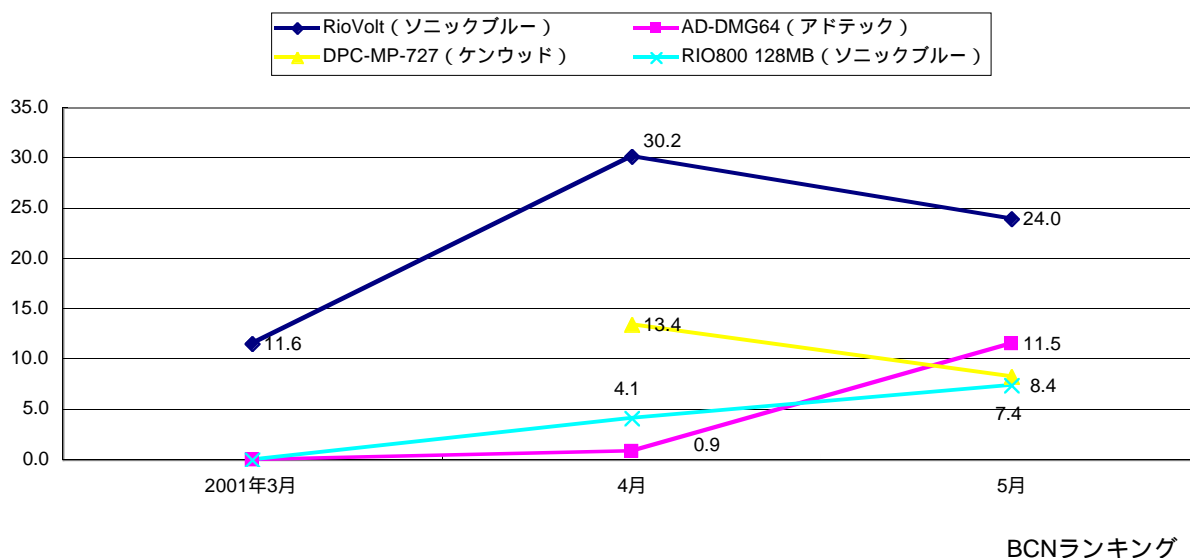
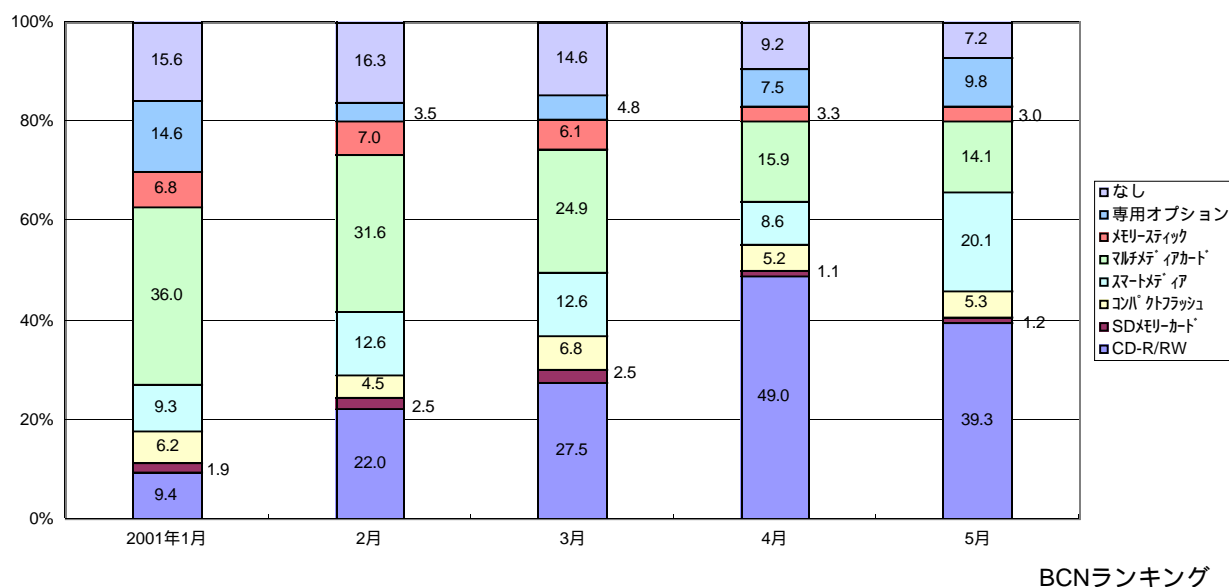


図2 記憶媒体別販売構成比率



* 本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。北村までご連絡下さい (kitamura@bcn.co.jp)。